

牛のウェアラブル生体センシング技術の開発

研究期間: 2014~2018年度



内閣府SIP

生体センシング技術を活用した

次世代精密家畜個体管理システムの開発

牛の繁殖機能や栄養・健康様態などを連続的にモニタリングし、様々なタイプのワイヤレスセンサから情報を送信します。スマートフォンでその情報を受信して、迅速に適切な対応が可能になります。



特徴

低消費電力化

長期間の持続的モニタリング

超小型化

牛への常時取り付けが可能

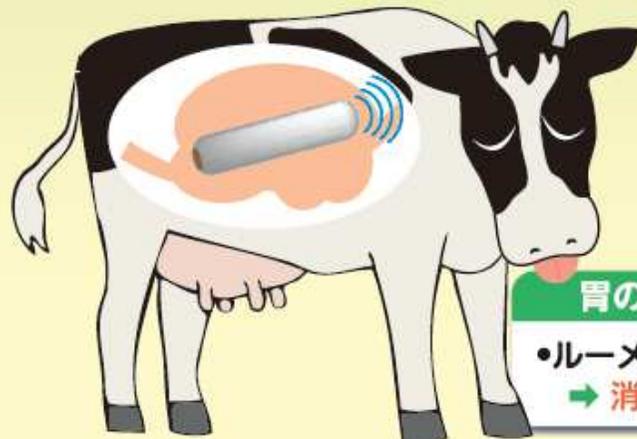
健康管理



牛のシッポに取り付ける

- 体表温センサ
→ 発熱検知
- 脈波センサ
→ ストレス情報

生産病の低減



胃の中に置く

- ルーメンセンサ
→ 消化器病の検出

繁殖管理

首に取り付つける

- インテリジェント首輪
→ 授精適期の情報

腔内に挿入

- 腔内センサ
→ 授精適期の情報
分娩予知

受胎率の向上



スマートフォンで受信

獣医師に早期の連絡

